



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月11日

上場会社名 株式会社IBJ 上場取引所 東
 コード番号 6071 URL <https://www.ibjapan.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石坂 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 澤村 勇典 (TEL) 080 (7027) 0983
 四半期報告書提出予定日 2021年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	3,294	△4.8	357	△32.6	330	△36.2	252	△22.2
2020年12月期第1四半期	3,458	△5.7	530	26.0	517	15.2	324	34.1

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 271百万円(△13.1%) 2020年12月期第1四半期 312百万円(△4.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	6.31	—
2020年12月期第1四半期	8.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	13,464	5,631	39.3	132.15
2020年12月期	13,887	5,664	37.9	131.43

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 5,289百万円 2020年12月期 5,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想は未定であります。

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,044	14.9	688	△9.9	611	△14.7	295	39.3	7.39
通期	15,248	16.7	2,074	28.0	1,966	29.6	1,134	65.3	28.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	42,000,000株	2020年12月期	42,000,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	1,971,580株	2020年12月期	1,971,552株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	40,028,430株	2020年12月期1Q	40,028,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、この四半期決算短信(添付資料)P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(追加情報)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続き、2021年3月に緊急事態宣言が解除された後も、同感染症の感染者数が再び増加しました。また、4月には3度目の緊急事態宣言が発令されるなど、同感染症拡大の収束が見通せないなか、今なお先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、「成婚組数2.5万組」「加盟相談所数1万社」「お見合い会員数20万人」「マッチング会員50万人」の中期経営計画(2021年1月～2027年12月)に向けて、業容拡大に努めてまいりました。当第1四半期連結累計期間においては、営業体制強化や営業スキル向上施策により新規開業件数が増加し、加盟相談所数が2,700社を突破。また、2020年5月に全国50店舗を有する株式会社ZWEIがグループ会社化したことにより、地方でのお見合いが活性化したことや、オンラインでのお見合いが浸透したこともあり、お見合い件数は新型コロナウイルス感染症拡大前を上回り、2021年3月には過去最多となる月間4.3万件となりました。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大による2度目の緊急事態宣言発出により、消費マインドが低下するとともに、主にパーティー事業においてパーティーの開催規模の縮小を余儀なくされるなど、当社サービスについても影響をうけました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,294,119千円(前年同期比4.8%減)、営業利益は357,581千円(同32.6%減)、経常利益は330,017千円(同36.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は252,659千円(同22.2%減)と前年同期に比べ減少しました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<婚活事業>

当セグメントは、開業支援事業、加盟店事業、直営店事業、パーティー事業、アプリ事業より構成されております。

当第1四半期連結累計期間は、

- ・開業支援事業においては、1月の緊急事態宣言発出の影響により、1～2月は前年同月比で売上高が減少した一方、営業体制の再編などにより、3月単月売上高は前年同月より増加し1億円を超えました。
- ・加盟店事業においては、加盟店数が2,700社を超え、3月には月間お見合い件数が4.3万件と最多を更新しました。
- ・直営店事業においては、外出自粛要請等による活動抑制のなか健闘し、またZWEIの業績回復も貢献したこともあり、入会数は3,746名(前年同期比139.2%増)となりました。
- ・パーティー事業においては、パーティー参加者数の維持回復に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による2度目の緊急事態宣言発出による影響でパーティーの開催規模の縮小を余儀なくされた結果、パーティー参加者数は第1四半期連結会計期間累計で9.1万名(前年同期比37.0%減)となりました。
- ・アプリ事業においては、有料会員数は3.8万名(前年同期比14.8%減)と減少傾向が続く一方で、グループ会社のDiverseにおいて、ライブストーリーミング事業等の新たな展開で事業拡大を図っております。

これらの理由により、セグメント売上高は3,003,129千円(前年同期比19.2%増)、セグメント利益は592,186千円(同25.7%減)となりました。

<ライフデザイン事業>

当セグメントは、ウェディング事業、旅行事業、語学教室事業、不動産・住宅ローン事業、保険事業により構成されております。

当第1四半期連結累計期間は、

- ・ライフデザイン事業全体では、成約件数について、ZWEIの会員基盤からの送客が徐々に実現したこともあり、972件(同比30.5%増)となりました。
- ・株式会社IBJウェディングが運営するウェディング事業は、新型コロナウイルス感染症拡大によるウェディングマーケットの冷え込みが強く、クライアントの広告費削減が相次いだことを受け、結婚情報誌の制作原価を削減するなどコストコントロールに努めました。
- ・株式会社かもめが運営する旅行事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、引き続き海外渡

航が制限されており、ほぼ休業状態を余儀なくされております。一方で、コストの見直しや削減、助成金を活用するなど、キャッシュアウトの抑制に努めております。

これらの理由により、セグメント売上高は290,990千円(前年同期比69.0%減)、セグメント利益は10,036千円(前年同期はセグメント損失△903千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間において、投資有価証券に含めて表示しておりました連結子会社が営業目的で保有する一部の投資有価証券について、重要性が増したため投資その他の資産から流動資産へ表示区分を変更いたしました。財政状態の状況については、当該変更を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は8,119,272千円となり、前連結会計年度末に比べ466,082千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が854,387千円減少した一方、営業有価証券が411,707千円増加したことによるものであります。固定資産は5,344,814千円となり、前連結会計年度末に比べ42,413千円増加いたしました。これは主に建物が104,504千円増加した一方、のれんが73,256千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は13,464,086千円となり、前連結会計年度末に比べ423,669千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は6,710,172千円となり、前連結会計年度末に比べ153,905千円減少いたしました。これは主に、未払金が176,990千円、未払費用が167,887千円、1年以内返済長期借入金が120,090千円減少した一方、短期借入金が200,000千円、預り金が112,845千円増加したことによるものであります。固定負債は1,122,579千円となり、前連結会計年度末に比べ236,446千円減少いたしました。これは主に長期借入金が261,250千円減少した一方、資産除去債務が17,754千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は7,832,752千円となり、前連結会計年度末に比べ390,351千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,631,334千円となり、前連結会計年度末に比べ33,317千円減少いたしました。これは主に利益剰余金が12,488千円、その他有価証券評価差額金が16,437千円増加した一方、非支配株主持分が62,217千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は39.3%(前連結会計年度末は37.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「2020年12月期 決算短信(4) 今後の見通し」に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する見積り及び判断について、重要な変更はありません。また、2021年12月期の通期連結業績予想についても変更はございません。今後、公表すべき事実が発生した場合は速やかにお知らせいたします。

なお、文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間末日現在において当社が判断したものであり、新型コロナウイルス感染症の拡大や収束時期等の見積りには不確実性を伴うため、実際の結果はこれらの見積りと異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,937,133	5,082,745
売掛金	1,267,201	1,252,788
商品及び製品	10,677	8,413
仕掛品	3,797	4,141
原材料及び貯蔵品	4,378	3,879
営業投資有価証券	996,377	1,408,085
前渡金	8,899	23,689
前払費用	214,979	230,208
未収還付法人税等	32,145	32,847
1年内回収予定の長期貸付金	2,117	1,517
その他	110,271	73,411
貸倒引当金	△2,623	△2,456
流動資産合計	8,585,355	8,119,272
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,167,609	1,257,719
減価償却累計額	△530,310	△515,916
建物(純額)	637,298	741,803
車両運搬具	19,848	19,848
減価償却累計額	△13,494	△14,022
車両運搬具(純額)	6,354	5,825
工具、器具及び備品	742,723	731,279
減価償却累計額	△676,907	△667,543
工具、器具及び備品(純額)	65,816	63,736
リース資産	70,257	81,561
減価償却累計額	△58,066	△58,925
リース資産(純額)	12,191	22,636
有形固定資産合計	721,660	834,001
無形固定資産		
のれん	2,168,681	2,095,424
ソフトウェア	282,793	276,589
ソフトウェア仮勘定	24,078	45,441
その他	2,461	2,461
無形固定資産合計	2,478,014	2,419,917
投資その他の資産		
投資有価証券	501,842	512,688
関係会社株式	35,708	2,687
長期貸付金	123,299	72,000
繰延税金資産	119,202	131,092
保険積立金	231,496	231,868
差入保証金	1,084,092	1,133,384
その他	7,083	7,175
投資その他の資産合計	2,102,725	2,090,896
固定資産合計	5,302,400	5,344,814
資産合計	13,887,756	13,464,086

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,184	41,776
短期借入金	3,810,000	4,010,000
1年内返済予定の長期借入金	433,360	313,270
未払金	711,770	534,779
未払費用	464,863	296,975
未払法人税等	203,257	112,812
未払消費税等	130,054	157,319
前受金	903,225	898,957
リース債務	3,469	5,342
賞与引当金	29,651	112,338
返品調整引当金	5,991	157
ポイント引当金	15,943	14,291
その他	99,306	212,152
流動負債合計	6,864,078	6,710,172
固定負債		
長期借入金	742,250	481,000
リース債務	10,337	19,043
退職給付に係る負債	67,027	65,371
資産除去債務	539,410	557,165
固定負債合計	1,359,025	1,122,579
負債合計	8,223,104	7,832,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	699,585	699,585
資本剰余金	776,984	776,984
利益剰余金	4,660,725	4,673,213
自己株式	△1,007,719	△1,007,744
株主資本合計	5,129,575	5,142,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,287	147,724
その他の包括利益累計額合計	131,287	147,724
新株予約権	634	634
非支配株主持分	403,154	340,936
純資産合計	5,664,651	5,631,334
負債純資産合計	13,887,756	13,464,086

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	3,458,523	3,294,119
売上原価	709,599	104,301
売上総利益	2,748,924	3,189,817
返品調整引当金繰入額	703	842
差引売上総利益	2,748,220	3,188,975
販売費及び一般管理費	2,217,381	2,831,393
営業利益	530,838	357,581
営業外収益		
受取利息	154	106
受取配当金	-	2,058
為替差益	139	1,143
投資事業組合運用益	-	5,436
保険解約返戻金	321	-
雑収入	1,710	409
営業外収益合計	2,325	9,154
営業外費用		
支払利息	1,240	3,625
持分法による投資損失	13,505	33,021
投資事業組合運用損	626	-
雑損失	209	72
営業外費用合計	15,581	36,719
経常利益	517,583	330,017
特別利益		
投資有価証券売却益	-	33,900
受取補償金	-	28,092
関係会社清算益	-	9,443
特別利益合計	-	71,435
特別損失		
固定資産除却損	5,100	2,875
減損損失	3,620	21,089
店舗閉鎖損失	-	2,197
新型コロナウイルス感染症による損失	-	20,928
特別損失合計	8,720	47,090
税金等調整前四半期純利益	508,862	354,361
法人税、住民税及び事業税	86,171	118,602
法人税等調整額	76,199	△19,144
法人税等合計	162,371	99,457
四半期純利益	346,490	254,904
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,861	2,245
親会社株主に帰属する四半期純利益	324,629	252,659

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
四半期純利益	346,490	254,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,307	16,437
その他の包括利益合計	△34,307	16,437
四半期包括利益	312,182	271,341
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	290,321	269,096
非支配株主に係る四半期包括利益	21,861	2,245

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループの四半期連結財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められている四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成しております。この四半期連結財務諸表の作成に当たりまして、資産・負債及び収益・費用の測定並びに開示に与える影響の内、将来事象の結果に依存するため確定できない金額については会計上の見積りを必要とします。これらの会計上の見積りについては、過去の実績や適切な仮定に基づいて合理的な判断を行っておりますが、見積り特有の不確実性があるため、実際の結果と異なる可能性があります。

なお、日本国内の新型コロナウイルス感染症の新規感染者の増加及び2021年4月25日の第3回の緊急事態宣言の再発出を受けて、新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について再度見直しを行いました。前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は、不確定要素が多く、当第2四半期連結会計期間以降の当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	婚活事業	ライフデザイン 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,519,693	938,829	3,458,523	—	3,458,523
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,600	3,600	△3,600	—
計	2,519,693	942,429	3,462,123	△3,600	3,458,523
セグメント利益又は損失(△)	796,604	△903	795,701	△264,862	530,838

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△264,862千円には、セグメント間取引消去△77千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△264,784千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	婚活事業	ライフデザイン 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,003,129	290,990	3,294,119	—	3,294,119
セグメント間の内部売上高 又は振替高	150	—	150	△150	—
計	3,003,279	290,990	3,294,270	△150	3,294,119
セグメント利益	592,186	10,036	602,223	△244,641	357,581

(注) 1. セグメント利益の調整額△244,641千円には、セグメント間取引消去1,200千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△245,841千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

ライフデザイン事業において、21,089千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。